

しらぬか

2022. 7.25 NO.157

議会 だより

- 2 令和 4 年第 2 回臨時会概要
- 5 令和 4 年第 2 回定例会概要
- 8 一般質問 8 名
- 17 委員会・協議会の活動
- 20 町民と議会の懇談会

白糠町をより詳しく調査!!

(白糠高等学校 1 年生の皆さん)

条例等

一部改正

- **白糖町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例**
人事院勧告に伴い、手当を0.15月分減額する。
- **町長等の給与に関する条例**
人事院勧告に伴い、手当を0.15月分減額する。
- **白糖町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例**
人事院勧告に伴い、手当を0.15月分減額する。
- **職員の給与に関する条例**
人事院勧告に伴い、正職員に支給する手当を0.15月分減額及び再任用職員に支給する手当を0.10月分減額する。
- **町税条例**
地方税法等の一部改正により、個人住民税及び法人住民税の「寄付金税額控除に関する経過措置」の終了、固定資産税の省エネ改修を行った住宅に係る税の減額措置について、対象工事の要件の拡充などの改正。
- **白糖町国民健康保険税条例**
地方税法等の一部改正により、課税限度額の引き上げに伴う改正。
- **白糖町介護保険条例の一部を改正する条例の制定**
新型コロナウイルス感染症の緊急経済対策に伴う改正。

議員の派遣

白糖町議会行政視察

駅舎・駅周辺整備の先進事例調査のため議員の派遣を承認しました。
日時：令和4年5月22日から23日
場所：洞爺湖町（行政視察）、白老町他（現地視察）
対象：道の駅「しらぬか恋間」移転改築及び白糖駅前広場整備事業特別委員会委員

討論

反対 被告側は素直に非を認めるべきだ。先ほど議長から封じられたが、私は事実だけを申し上げている。私にはマスクの着用を命じておきながら、全員協議会で答弁に立った担当課長にマスクを外して答弁しなさいなどという、そんなでたらめなことが通るのか。そんなことは総合的に勘案しても、この裁判、被告側、対応は誠に理不尽で何ら真摯に答えておりません。裁判所も部分法理の部分、社会の法理という全近代的な制度を持ち出して、三権分立の体を全くなしておりません。そのことを考えてきちっと対処していただきたい。

（福地）

賛成 私は賛成の立場で討論を申し上げます。マスクの着用について、福地議員が取った一連の行為はマスクの着脱が問題なのではなく、手続き上の問題であります。福地議員も所属する全員協議会において、マスクの着用を全会一致で確認し、福地議員自らも1年以上マスクを着用していたにもかかわらず、考えが変わったからといって突如としてマスクを着用しないという行動による表現を取ったことが、混乱の始まりであります。考えが変わったということであれば、町議会議員として法に則って手続きを踏み、議論を重ね周囲の同意を得ていくということが、言論の府に属する議員として取るべき行動だったと私は思います。福地議員が取った行動により議会に混乱を招き、さらに訴訟で町が敗訴する事態となれば、これまでふるさと納税などで白糖町を応援してくださっている多くの方々を失望させ、さらには町民の皆さんにも多大な不利益が生じることになりかねないと危惧することから、今回の補正予算で必要な経費を計上することに賛成をいたします。

（石田）

決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議の内容は、19ページに掲載しています。

4年度補正予算

一般会計補正予算（専決）

補正合計 685万2千円

総額 169億7385万2千円

●増額	
新型コロナウイルス感染症対策費	2,739,000円
新型コロナウイルスワクチン接種対策費	2,892,000円
訴訟代理業務	1,221,000円

質疑・答弁

問 4回目の接種との話もあるが、知り得る範囲での説明を。

答 国から4回目のワクチン接種の体制を整備するようにと連絡が既に入っている。白糖町は国が示している3回目のワクチン接種から5ヶ月の間隔を空けて接種できるように準備をしている。

問 牛乳消費拡大。恋間館で牛乳を配ったようだが、こんな程度では消費拡大の起爆剤にならない。もっと大胆にすべきではないか。

答 町の考え方は、持続性を持つ取り組みとして、教育と子育てと絡めながら進める方向として、4月に取り組みました。今後、推移を見計らいながら色々な対応策を考えたい。

問 一審裁判の弁護士費用が66万円とのことだが、全体でどの程度の費用だったのか。また、新聞報道で町が勝訴したとあったが、勝訴しても弁護士費用は町が負担しなければならないのか。

答 全体の費用は、弁護士費用66万円で、それ以外の経費の支出はない。また、弁護士費用は裁判の勝ち負けに関わらず原告、被告それぞれが負担することとなっている。

問 今回の補正と一審の費用を合わせると200万円程の税金が使われる。今後、最高裁判所まで裁判が続くことになれば、それ以上の費用が必要となり、町民の皆さんの税金で賄われることになる。町民の皆さん到底納得できるものではないと思うが、勝訴した場合、町としてかかった費用を原告に請求すべきと思うが。

答 裁判に勝訴した場合でも、敗訴した当事者に弁護士費用を負担させる、法令上の定義が無いことから、原告に対して弁護士費用を請求することは現状できない。

第2回 臨時会

5月17日

- ・行政報告
- ・専決処分の承認（補正予算・条例改正）
- ・条例改正
- ・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議
- ・議員の派遣

3年度補正予算

一般会計補正予算（専決）

補正合計 5億5,006万3千円

総額 249億9,488万円

●増額	
北海道市町村備荒資金組合納付金	
	1,190,000,000円
常備消防事業負担金	3,138,000円
社会福祉基金等	1,792,276,000円
繰出金	2,460,000円
●減額	
まちづくり基金	772,101,000円
ふるさと納税関連	1,647,859,000円
釧路白糖工業用水道企業団負担金	17,851,000円

質疑・答弁

問 ふるさと納税クラウドファンディング寄附金の中身は。

答 1点目は、新渡戸稲造の記念館の建設の関係。2点目は、鹿の食害対策の関係。3点目は、海洋調査の関係で募集をしている。

4 年度補正予算

一般会計補正予算（専決）

補正合計 1 億 5,449 万 4 千円

総額 171 億 2,834 万 6 千円

●増額

産業用地購入経費	8,300,000 円
住民税非課税世帯等臨時特別支援事業費	20,711,000 円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	2,368,000 円
新型コロナウイルス感染症対策費	111,593,000 円
漁船保全修理施設改築事業補助金	18,500,000 円
都市公園施設改修工事	29,000,000 円

●減額

消防施設費	35,978,000 円
-------	--------------

質疑・答弁

問 産業用地購入予定地に希少な植物等がないのか。

答 希少生物の調査などは行っていない。

問 公園施設改修工事に係る遊具について、冬期間の凍結に対して支障が考えられないのか。

答 冬季間の凍結による遊具本体への影響は無いと聞いている。

問 逍遙公園の整備について、公園の芝生でペットが排泄をした場合、ふんや尿を完全には取りきることはできず、そこに子どもたちが寝転んだりする。公園にペットが入らないように出来ないか。衛生的に問題がある。

答 公園のペットの利用は飼い主の方のモラル、一般常識に委ねている。今後もルールを守っていただけるように、看板や広報等で周知をする。

条例等

一部改正

●白糖町子ども発達支援センター条例

「白糖学園」の新築施設の2階に「白糖町子ども発達支援センター」が移転することに伴う改正。

第2回 定例会

6月7日
●行政報告
●一般質問

6月8日
●補正予算
●条例改正
●工事請負契約の締結
●工事委託業務に関する協定の締結
●財産の無償貸付
●組合規約の変更に関する協議
●公平委員会委員の選任
●副町長の選任
●意見書の提出
●議員の派遣

議員の派遣

北海道町村議会議長会主催による議員研修会の他、総務文教常任委員会による道外視察及び広報研修会への議員派遣を承認しました。

◆北海道町村議会議員研修会

日時：令和4年7月6日から7日

場所：札幌市

対象：議員全員

◆総務文教常任委員会行政視察

日時：令和4年7月19日から21日

場所：宮城県仙台市、宮城県亶理町

対象：総務文教常任委員会委員

◆広報研修会

日時：令和4年8月22日から23日

場所：札幌市

対象：広報広聴調査特別委員会委員



行政報告

外国語指導助手及びスポーツ国際交流員の着任

●外国語指導助手 モウ ハイフェイさんが3月に、スポーツ国際交流員 ヘンドロ・ブディ・スラハマンさんが4月に着任したことが教育長から報告されました。

モウ ハイフェイさん着任あいさつ(抜粋)

私は、この4月から、すでに幾つかの学校や子ども園で子どもたちに接し、授業をさせていただいております。

前任の徐先生から私まで丸2年、ALTによる中国語の授業がありませんでしたが、白糖町の子どもたちは、私が当初思っていた以上に、大変中国語に興味を持っており、私にとってうれしい誤算でした。

これからは、一日でも早く白糖町の歴史や文化、そして多くの方々と接し、白糖町が進めている「ふるさと教育」推進のために、尽力したいと思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



モウ ハイフェイさん

ヘンドロ ブディ スラハマンさん着任あいさつ(抜粋)

私は、この4月末から、すでにスポーツ少年団や学校で子どもたちに接し、バドミントンの指導をさせていただいております。

白糖町の子どもたちは、私が当初、思っていた以上に、バドミントンのことや、インドネシアのことに興味を示してくれておりました。

私は、大変、驚いているのと同時に、非常にうれしく感じています。

これからは、子どもたちの溢れる才能を引き出し、白糖町の町技でありますバドミントンを盛りあげていきたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



ヘンドロ ブディ スラハマンさん

お詫びと訂正



前号の2ページの緊急質問(緊急事態にどう対応したか)について、質問議員の標記がありませんでしたので、お詫びして、お知らせいたします。

質問議員
・福地裕行



次回の定例会は
9月中旬の予定

契約の締結

白糠小中学校校外統合事業

《外構工事その2 1億5,664万円》

グラウンドの造成1万6,760平方メートル、暗きょ排水の敷設1,172メートル、防球フェンスの敷設替え、バックネットの設置などをの工事。

問グラウンドの暗きょ設備は以前に整備していたのでは。

答以前にも暗きょは入れているが効いていない状況もあるので、改めて暗きょを入れ整備する。

問グラウンドに風が吹いたらほこりで周辺住民が迷惑している、何とかならないか。

答グラウンドについては、入れ替える土に特殊な粉を混ぜて固めることで、雨水を吸収しぬかるみづらく、またほこりも飛びづらいという特殊な工法で整備をすることから、そういった心配はなくなる。

乳呑自然公園改修工事

《9,350万円》

園路盤工1,700平方メートル、バイオトイレ1基、四阿1基、ベンチ9基、案内板8基等を施工の工事。

林道橋梁補修工事(田代橋)

《4,950万円》

橋長75メートルの上部工塗装塗替え671平方メートル、ひび割れ補修一式などの工事。

町道橋梁補修工事(千国橋)

《6,050万円》

橋長80メートルの上部工塗装塗替え906平方メートル、地覆打替工26立法メートルなどの工事。

財産の無償貸付

学校法人二葉学園に財産の無償貸し付け及び貸し付け面積の変更をします。

①「白糠学園」の新築施設に「白糠こども園」が移転するため、必要面積を無償で貸し付けます。

②庶路学園から「子育て支援センター」が「白糠学園」の新築施設に移転することに伴い、空きスペースを「庶路こども園」に無償で貸し付けるため、現状貸し付けている面積から変更をします。

協定の締結

「白糠下水道管理センター」の設備更新に係る工事委託について、日本下水道事業団と協定を締結します。

質疑・答弁

問 随意契約しかないのか。

答 日本下水道事業団は、法律上協定を許されている唯一の法人であるため、随意契約としている。

公平委員会の選任

令和4年7月31日で任期満了となる公平委員会委員について、4年の任期で次の3名の選任に同意しました。

- ・ 釧路町 及川 晃仁氏
- ・ 弟子屈町 山本 節子氏
- ・ 鶴居村 中尾 義行氏

※公平委員会は管内町村等による共同設置となっており、委員の選任については、共同設置者全ての同意が必要となります。

意見書

●森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ関係大臣、衆・参両議院議長に提出します。

規約の変更

次の組合を組織する構成団体に新たに加入する組合が生じたことに伴い、各組規約の変更を議決しました。

- ・ 北海道市町村総合事務組合
- ・ 北海道市町村職員退職手当組合
- ・ 北海道町村議会議員公務災害補償等組合

釧路公立大学の法人化に伴い、釧路公立大学事務組規約の変更を議決しました。

副町長の選任

令和4年6月15日で任期満了となる副町長について、新たに4年の任期で再任に同意しました。

◎白糠町西庶路

・ 木村 政勝氏



木村副町長

外国語指導助手の退任

●外国語指導助手 ロジャース・リンジー・マリコさんが8月に、エドワーズ・アビゲイル・アンさんが7月に任用期間を終了し、退任することが教育長から報告されました。

エドワーズ・アビゲイル・アンさん退任あいさつ (抜粋)

私は、茶路小中学校で子どもたちに英語を教えることを通して、たくさんの感動と喜びをもらうことができました。授業では英語を好きになってもらえるように、アビertimeを作って、ゲームなどを行いました。昼休みには、汗だくになって鬼ごっこやドッジボールなどをして、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。

白糠町を離れるのはとても残念ですが、私は、もう少し日本にいて、日本のすばらしいところを見ていきたいと思っています。できれば、学んだことを生かして、道東で働くことができれば、最高に幸せです。



エドワーズ・アビゲイル・アンさん

行政報告

町内への企業進出について

大阪府大阪市に本社を置く「シフトプラス株式会社」が、旧庶路幼稚園跡地に、ふるさと納税に関するワンストップ特例申請処理業務、問い合わせに対応するコールセンター業務、商品ページデザイン業務を行うための営業所を開設します。

今後、土地譲渡契約の締結事務を取り進め、営業所となる施設の建設を本年10月に着工し、年明け2月に竣工、常勤職員を50人から60人雇用し、繁忙期には最大100人まで増員されるといった内容が、町長から報告されました。

ロジャース・リンジー・マリコさん退任あいさつ (抜粋)

私は、主に庶路学園と庶路こども園で、授業をしてきましたが、子どもたちが笑顔いっぱい英語であいさつをしてくれたことが印象に残っています。庶路学園の先生から「今日、リンジー先生、来ますか」と毎日のように子どもたちから質問されると聞いたときには、うれしさと胸がいっぱいになりました。

私は、アメリカに帰国しますが、町の皆さんから学んだことを生かし、これから更に努力していきます。そして、成長した姿をどこかで見せられるよう、頑張っていきます。



ロジャース・リンジー・マリコさん

問いかけ 提案する

一般質問

議員8名が18件24項目について質問しました。
※一般質問は1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。

石田 正義 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・9ページ

- 1 脱炭素対策について
- 2 酪農の振興について
- 3 教員不足の実態について
- 4 通学路について

小野 キサ 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・10ページ

- 1 「防災士」資格取得の支援について
- 2 「白糠版キャリアパスポート」について
- 3 「読書活動」を対象とした表彰について

坂本 勝雄 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・11ページ

- 1 白糠町の学校部活動について

澤原 孝行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・12ページ

- 1 高齢者への交通支援について
- 2 児童生徒のスポーツ・文化活動への支援について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・13ページ

- 1 白糠町野菜生産推進事業について
- 2 義務教育学校の部活動について

鎌田 民子 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・14ページ

- 1 成人年齢引き下げによる消費者被害を防ぐ措置について
- 2 学校のトイレ個室に「生理用品の設置を」について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・15ページ

- 1 食料危機について
- 2 感染症対策について
- 3 巨大地震対策について

折出 征清 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・16ページ

- 1 学園通りの街路樹について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴調査特別委員会
が校正したものです。

一般質問



石田 正義 議員

【問】道東海域は10年間で平均約1.9℃海水温の上昇が示されている。気温の上昇が原因とされる気候変動は、世界各国が協力して温室効果ガスの削減に取り組んでいくこと

【答】二酸化炭素の排出と温暖化は一連托生でいろいろな被害があり、特に海水温度が問題であり対策の考え方を伺う。

【問】と畜場の新たな建設について去る3月11日民間企業が建設に向け取り組んでいくと新聞報道がされたが、自治体への説明はなく、釧根管内の連携は特にない現状である。

【答】と畜場の新たな建設について去る3月11日民間企業が建設に向け取り組んでいくと新聞報道がされたが、自治体への説明はなく、釧根管内の連携は特にない現状である。

【問】本町において教員不足は生じていない現状である

【答】本町において教員不足は生じていない現状である

【問】遠距離通学者のコミュニケーションバス利用を開始

【答】遠距離通学者のコミュニケーションバス利用を開始

【問】脱炭素対策の取り組みについて伺う

【答】細やかなことでも可能なことから取り組みんでいく

【問】2050年までに二酸化炭素ゼロを目指しゼロカーボンシティ宣言をしているが現在の取り組みで達成できるのか。

【答】カーボンニュートラル達成のための具体的取り組み、方策を講じるため町内におけるおおよそのエネルギー消費量や二酸化炭素排出量の把握

【問】町民、事業者の皆様も関心を持ってはいるが、今いち具体的取り組み方が分らない。講演会など専門家の意見や話しを聞く考えはないか。

【答】広報しらぬかやホームページで内容を掲載している。車で行い、地域資源を活用した再生可能エネルギーの活用、省エネルギーなどの取り組みについて検討を進めている。

【問】赤潮の発生による漁業被害など深刻であり、地域をあげて対策が必要と思うが。

【答】海底のブルーカーボン、地上での森林の循環など可能などところからやっていく。一人ひとりに細かいことでも協力していただきしっかりと取り組んでいく。

【問】関係団体の考え方を注視していく

【答】関係団体の考え方を注視していく

【問】と畜場建設の進捗状況を把握しているのか。

【答】と畜場建設の進捗状況を把握しているのか。

【問】各農業団体が企業と協議していると思うが、それが決まっていれば言い様がないか。

【答】各農業団体が企業と協議していると思うが、それが決まっていれば言い様がないか。

【問】通学路について

【答】通学路が4km以上となる児童生徒（現在4世帯6名）を対象にコミュニケーションバスを無償で利用できるような制度拡充を図り運用を開始した。

【問】白糠学園開校により通学距離が遠くなり、対策が必要と思われる。

【答】白糠学園開校により通学距離が遠くなり、対策が必要と思われる。



小野キサ 議員

問 「防災士」支援について

答 「地域防災マスター」資格者の増強

問 災害に備え、職員の防災対応能力を向上させ、防災指導のリーダー育成のため「防災士」資格取得に対し支援をすべきと思う。2項目を伺う。①防災専従職員及び町内「防災士」資格者の状況。

答 専従職員は平成20年度に地域防災課を新設し防災業務専従2名、消防業務1名、管理職2名の計5名。「防災士」は郵便局長1名、現職消防署員1名、退職消防署員3名の5名。

問 ②職員の「防災士」資格取得に対する支援の考え。

答 「防災士」は民間資格であり、民間2団体が年1〜2回の開催予定で研修講座等が行われているが定員割で中止になったり、受講費用が高額であることから、防災担当職

員は「地域防災マスター」の資格を取得し、現在町内資格取得者11名の内、職員4名となっている。今後、積極的に資格者を増やし地域の防災リーダーを育成する。

※1 「防災士」とは

民間機関である「NPO法人日本防災機構」の主導の下、2002年に発足した認定資格制度で、生命に関わる被害が軽減されるように専門家に代わり救助や応急活動に当たり、周囲に指示を出し非常用備品の用意をさせるなど災害現場におけるリーダーの役割や防災訓練、防災研修、イベントに参加し「災害に強いまちづくり」の支援に携わる。

※2 「地域防災マスター」とは

北海道が独自に「防災士」の資格と同様の理念で2007年に創設し、地域における防災活動や災害時のキーマンとなる人材育成の研修を行っている。道内各振興局単位で行われているが受講者数の調整等により希望者数との差異が生ずる。

問 「キャリアパスポート」とは

答 「将来の自分自身の生き方」を考えるための教材

問 キャリア教育推進のために作成された「白糠版キャリアパスポート」の活用と今後の取り組みについて伺う。

答 小学校から高校までの12年間の学習の記録を蓄積する一冊で令和3年4月から取り組みを開始した。自身の成長と今後に向けてがんばりたいことなど記載できる構成となっている。

教師や保護者のコメント欄が設定されて他の人からの期待やアドバイスを見ることができ、児童生徒の継続的な活用と家庭と連携した取り組みの推進と更なる効果的な利活用の方法を検討していく。



問 「読書活動」の表彰について

答 「読書おもしろ帳」全記帳で表彰

問 令和4年度の教育行政執行方針で「子どもたちの豊かな感性を育む読書活動の推進」を掲げている。本町の児童生徒を対象に「読書活動」に対しての表彰の考えを伺う。

答 公民館図書室では図書管理システムを導入し、借りた本が記録できる「読書おもしろ帳」の利用を進めている。今年度は町立学校図書館でも公民館図書室とオンライン連携ができるよう整備中で「読書おもしろ帳」に記帳が可能となり読書活動の推進につながると考える。

児童・生徒を対象とした表彰は「読書おもしろ帳」が1冊全て記帳(336冊)された際に、公民館図書室のイベント等で賞状と記念品を贈ることを計画しており、今後PR活動していく。



坂本勝雄 議員

問 白糠町の部活動について

答 必要な手続きを取り、生徒や保護者の希望が叶うように体制を整えていく

問 我が町は、学校部活動を熱心に取り組んできた実績もある。現在、部活動を行いたい生徒、部活動をやらせたい保護者からの要望があっても、希望する部活がない場合の対応を伺う。

答 学校の部活動は、文化・スポーツに興味・関心のある一定数の同好の生徒と各部の指導者がいて成立するものである。

学校に希望する部活動がない場合は、他校と合同で部活動の登録を行い活躍したり、クラブチームに参加したりしているのが現状である。

また、中体連等の大会の出場に当たっては、学校の教員の登録が条件となっている競技については、必要な手続きを取り、引率等の対応をし、出場機会を確保し、生徒や保

護者の希望が叶うよう体制を整えている。

生徒数の減少により団体の活動が難しい状況になっているが、学校のみならず、地域全体でフォローする体制作りに向け、今後検討を進める。

問 学校に部活動がない場合、他校と合同で活動するとの事だが、その場合、指導者の移動等の送迎はどのようにするのか。

答 指導者については、それぞれの学校の指導者が主になって話し合っている。それぞれの学校の体制によって行う。

問 地域全体でフォローする体制作りに向け検討することだが、スポーツ庁は、部活指導を地域のスポーツクラブやジム等に委ねる地域移行を実現すべきだとの提言を了承した。教育委員会として、今後どのように取り組んでいくのか。

答 スポーツ庁の有識者会議がスポーツ庁長官へ提言を提

出した。提言の中にある指導者確保が重要な課題である。

白糠町に置き換えた時にも指導者確保が一番難しい課題になってくると考える。スポーツ庁の方でこれらの取り組みに向けてガイドラインを近日中に発出する予定と伺っている。合わせて来年度予算の概算要求にそれらの支援に対する関連経費を盛り込む内容で進められている。令和5年度から7年度の3年間を集中改革期間として、全国的に取り組んでいく方針を打ち出している。これから発出される内容・概要をよく調査して取り進めたいと考えている。





澤原孝行 議員

問 市街地と山間部での高齢者の交通支援に差異があると思うか

答 現時点で金額に差異を設けることは考えていない

問 生き生きしらぬか外出支援助成事業の一環として、高齢者の交通支援を打ち出しているが、市街地で生活する高齢者と、郊外や山間部で生活する高齢者とは、移動するための料金に差異があると思うが、公正公平の原則はあるものの、実態に即した施策の在り方を伺う。

答 運転免許証の自主返納者にも対象を広げ、平成30年度からは、更なる利用者の利便性を図るため、タクシーの他、町営バスも利用できるよう拡大した中で、本事業を推進している。

町営バスは、1回につき最高で500円で利用でき、郊外や山間部の方は、予約をいただければご自宅までの送迎も行っている。
これらの経過等を踏まえ、

公平性の観点から定額での助成とさせていた。現時点で金額に差異を設けることは考えていない。

問 差異と思われるタクシー券について、山間部の高齢者が買い物やお風呂に来るには大変である。

市街地では、お風呂に行くのにも往復タクシーが使える。ここに差異がある。だから免許返納したいが出来ないとのことである。休みや祭日では申込みが更に大変なので、考慮できないか。

答 料金に地域差があることは、町も認識している。

調整の方法については、利用の目的、手段、回数など、個々によって差異が生じるので、古くからご意見をいただきながら、検討をしてきた経過がある。

山間部と市街地のタクシーの関係は、例えば町営バスで山間部から白糠駅まで出かける場合の料金は500円である。同じように、市街地の方が自宅前からタクシーを利用すると初乗り区間で640円かかる。

逆に、市街地からブルーベリィ狩り等で上茶路に出かける場合、町営バスで500円かかるが、山間部では200円程度で行ける、というようなことも含め、総合的に勘案し、交通支援は一律としているものである。

問 児童生徒のスポーツ・文化活動に対する保護者への支援が必要と思うか

答 保護者負担軽減のため支援を図る

問 町内の小中学校や白糠高校の児童生徒は、少年団や部活動、クラブ活動等様々な形でスポーツや文化活動に取り組んでいると思われるが、今後教育委員会として、児童生徒の健全育成の立場から、それらの取り組みに対する保護者へ負担軽減のための支援が必要と思うか。

答 少年団や部活動などへの支援は、助成基準の見直しや拡充などを都度行いながら、保護者負担の軽減に努めてきた。白糠町スポーツ推進助成条例

により、全道・全国大会出場時の交通費・宿泊費、また、文化振興助成条例によりまして、全道大会出場時の交通費・宿泊費の助成を行っている。

釧路管内で開催される中学校体育連盟の地区大会出場の際は、町民バスでの送迎を行い運行費用の助成を行っている。

少年団活動においては、白糠町スポーツ少年団本部を通して、少年団7団体にに対し、一律30,000円の奨励金を交付している。

今後においても、これまでの実績を踏まえ、時代のニーズを的確に把握しながら、保護者負担軽減のための支援を図る。

問 部活・クラブ活動等、部活の先生や指導者が少ないことから、来年度は、クラブ・部活や同好会等に移行するようになるのか。

答 休日の教職員の負担を無くそうという趣旨で、民間事業者や地域のスポーツクラブへ、部活動の指導を委譲することを考えている。来年度から3年度かけて制度を構築し、完成させたいという内容である。



中河敏史 議員

問 野菜生産推進事業支援条件を緩和せよ

答 交付要件は緩和せず

問 白糠町野菜生産推進事業による支援は、現在、白糠町野菜生産組合員、野菜栽培している法人に限定している。この数年、町内のバザール等

では支援を受けていない生産者や該当しないJA女性部の会員が頑張っている。スーパーマーケットの閉店もあり野菜の供給に不安がある。それらを踏まえ、野菜の生産を増やしていただくため支援制度の交付要件を満たさない会員、もしくは会員以外の方にも支援ができるように推進事業の要件を緩和してはどうか。

答 白糠町野菜生産推進事業については農業生産物の安定性と施設野菜の出荷量の増大を図るため、野菜生産者に対して土づくり及び施設野菜の資材の購入費用の一部を補助する内容。平成31年4月、制度を創設し、野菜生産組合等との意見交換などを踏まえ、補助要件の緩和や補助対象経費の拡充などを図り令和2年4月から一部改正している。交付要件を満たさない場合は支援をしない。しかし、JA

女性部等による野菜生産の拡大につながる取り組みは、町としても大いに歓迎するところであり、意欲をもって取り組んでいる方々には是非、野菜生産組合に加入していただ

き、協力して積極的に野菜生産の振興に取り組んでいただきたい。町として引き続き支援していく。

問 野菜生産組合に加入している会員は何名でその中で支援を受けている会員は

答 12名で4名が支援を受けている。

問 支援を受けているのは33%である、利用者が増える理由は

答 制度が始まり支援を受けられる方が少なく最初は2名が支援を受け、更に増やすため野菜生産組合と意見交換し、内容の拡充、緩和等を図り令和3年度は4名に拡大した。7月からチャロマーの開催に向け更なる拡大に取り組んでいる。

問 野菜生産組合に加入してなくても例えばチャロマーに参加している女性部等に拡大してはどうか。チャロマーのバザールは開始早々に完売するような状況にあり、

更なる発展が望まれる。出店者を増やすためにも支援の緩和が必要と思うか。

答 野菜生産組合に加入していない方は野菜生産組合に加入して頂き、支援を受け、より多く生産して頂き町を盛り上げていただきたい。

問 一貫教育の部活動はどのようになるのか

答 中学校の部活動を継承していく

問 8月には町内の小中一貫教育が本格的に始まるが部活動はどのようになるのか。

答 白糠学園については現在の白糠中学校の部活動を継承していく。後期課程では現在開設しているバトミントン部、女子バレーボール部、美術部を設置する予定であり前期課程は、金管同好会を継承予定である。

問 白糠町教育振興ビジョン「白糠町の教育づくり」の中に部活動の記述がなく、部活動に対する取り組みが弱いのは。

答 部活動に関する記述が抜けていたが部活動も教育の一環であり力を入れていないということではない。同好の志が集まって、そこに指導者がついてという形になり、全ての児童生徒に強制的に行えない。志を持った者たちが集まって行っているものについては支援をしていく。白糠町全体の教育としてはそこまで特化したものではないとご理解いただきたい。

問 小中一貫教育ということですが部活動も一貫教育の特性を生かして出来ないか。例えば現在の部活動の継承ならば小学校の金管同好会は継承できない、しかし、これからの義務教育学校なら継続できるのではないかと思う。小学校で始め中学校、高校と研鑽し社会人へと進み生涯教育につながるっていくのではないか。

答 今後、保護者等を含め検討し適切な部活の指導をしていく。



鎌田民子 議員

あるが、同時に「未成年者取
消権」が適用されなくなるた
め、若者を狙った悪質商法な
どによる消費者被害の拡大な
どが懸念される。この点につ
いての考えを伺う。

【答】4月1日から新たに成年
となった方は18歳53名、19歳
57名、計110名。消費者ト
ラブルに巻き込まれる原因と
して、知識、経験、判断力が
不足していることがあげられ
る。

【問】保護者の関与も含め、学校
現場などの関係機関と連携を
図り進めていく。被害があつ
た場合には、更に被害が拡大
しないように、すぐ相談でき
る相談先の周知、啓発も進め
ていく。

【問】実践的な消費者教育の充
実や消費者被害への相談体制
の強化拡充と共に、実効性の
ある対応が必要と思う。高校
も含めて具体的取組の考えは。

【答】中学校においても消費者
としての基本的権利と責任に
ついて教育は、必要と考え
る。白糠高校とも連携を密に

し、消費者トラブルにあわな
いため、積極的な啓発活動を
取り進めていく。白糠高校で
は、「金融機関について（ク
レジット契約など）」の講座
を実施しており、本年は「消
費者被害にあわないための金
融教育講座」も予定している。

【問】様々な被害の中でも、高
校生を含む18歳、19歳のAV
出演強要問題が深刻との報道
もある。未成年者取消権によ
る救済もできなくなる。教育
講座などの考えは。

【答】国において、未成年者取
消権に替わる法案を検討して
いるとの事。内容についても
広報、ホームページで知らせ
る。独自の教育講座は検討し
ていない。

※未成年取消権とは
未成年であることを証明す
るだけで「だまされた」「脅
された」と立証しなくとも契
約を取り消すことができる権
利。消費者被害を抑止する防
波堤とも言われている。

【問】学校のトイレ個室
に生理用品を設置
してはどうか

【答】これまでどおり保
健室に常備し健康
相談を行っていく

【問】厚生労働省が初めて実施
した生理用品の調査で、購
入・入手に苦労した経験のあ
る女性が8・1%になり、20
代以下の若年層では12%超え
となった。

理由として、経済的な要因
が多くあがっている。コロナ
禍の中、困窮する家庭が多く
なったことで、「生理の貧困」
が語られるようになり、政府
も支援を行い始めた。このよ
うな状況下で、とり合えず学
校のトイレ個室に生理用品
を設置してはどうか。全国
581自治体、北海道では旭
川市、芽室町、広尾町で設置
しているなど、何らかの支援
に取り組んでいる。本町でも
問題意識を持って取り組んで
はどうか。

【答】学校の実態として、生理
用品は保健室に常備している。



養護教諭が健康観察等を行い
ながら、必要な児童生徒に渡
している。令和3年度に保健
室で渡した件数は、各校数件
程度。貧困という理由ではな
く、持参するのを忘れた、あ
るいは、急に生理になってし
まったという理由で渡した。
このようなことから、これ
までどおり保健室に常備し、
適切な指導とともに渡すとい
う対応を継続する。

【問】トイレの個室に設置して
も個々の健康相談は出来ると
思うがどうか。

【答】養護教諭の意見も聞く必
要があると思うが、保健室に
常備することにより、個々に
応じた対応が出来ると考える。

【答】関係機関との連携
を図りながら取り
進める

【問】成人年齢を引き下げる改
定民法が施行された。親の同
意なしに高額な商品の購入、
ローンやクレジットの契約が
可能になる。自己決定権を拡
大するという積極的な意義が

【問】食料危機の真っ只中

【答】自給自足も勧める

【問】虚飾に満ちたコロナ禍騒
動とウクライナ紛争で燃料や
食品、中でも穀類や生産資材、
又農薬・化学肥料の原料の高
騰により最早、食料危機の高
真っ只中にある。ウクライナ
紛争では、わが国は未だアメ

リカ帝国の属国とは云え、局
外中立を保つべきところロシ
アを完全に敵に回した弊害は
あまりに大きい。町民の命と
健康を守る観点から町民の食
料自給率向上を目指し、今こ
そ町挙げて自産自消（町産町
消）の取り組みを推進すべき。
【答】新たなまちづくりとして
地産地消と食育の推進に取り
組んできた。農業では、担い
手確保と酪農・畜産の振興や
野菜生産者への支援等を推進
している。漁業では、つくり
育てる漁業として、さらにホ
タテの増養殖にもチャレンジ
されるので期待している。

【問】通り一遍の答であり危機
感が全くない。具体的な成
果・実績は？

【答】意欲ある人を外から招き
入れる基盤づくりを進めた。
【問】特筆できる実績など無い。
食糧危機の認識は？

【答】最大の悩みは人材。自給
率向上は国是でもあり、一歩
一歩外の力も借り進めている。

【問】今頃、人材とか一歩一歩
なんて言っている場合ではな
い。言い訳に過ぎない。

【答】関係者とも協議しながら
自給自足の取り組みを進める。

【問】コロナ禍の弊害は
甚大

【答】経過観察を続ける

【問】茶番、理不尽な感染対策
により町民の命と健康が危う
い。人口動態統計からも世界
最大の薬害事件と断定するが、
長期に亘る経過観察が必要。
【答】疾病の早期発見、早期治
療についても啓発していく。

【問】国の言いなりの建前論
だ。ファイザーワクチンの1、
300もの副作用が明らかに
なったが、身近でも死期を早
めている人が多い。

【問】予防接種法により対応。

【問】長期的な安全性は何ら担
保されていないのにおおりに
あおって接種を進めた。

【問】今後の経過は注視する。

【問】マスクの効果は？

【答】飛沫感染から自分と他人
を守る。

【問】穴の大きさからも効果は
無く、特に子どもは弊害が大
きい。また陽性と感染、発症
の違いも明らかにせずあおっ
ているし、国は隠してきた感
染経路の主流を空気感染とよ
うやく白状したが、肝心な換
気が全くなっていない。

【問】会議の時など1時間を目
安に5分程度換気している。

【問】一人当たり一時間30分が
基準だ。

【問】周知にも努める。

【問】巨大地震対策は
待ったなし

【答】急いで計画を立てる

【問】巨大地震に係る改正特別
措置法が政治力の乏しさから
も遅れに遅れ漸く成立した。
冬季をも見据えた津波避難タ
ワー・避難場所が必要。

【問】減災目標が年内を目途に
公表されるが、施設整備につ
いては、国の制度も踏まえな
がら、スピード感を持って検
討を重ねる。

【問】厳冬の訓練結果を町民
にどうフィードバックしたか。
又、共助をも視点とした冬季
訓練が全く足りない。

【問】町内会の役員と結果を共
有し、今後に活かす。
【問】コロナ禍で十分実施できな
かった。
【問】施設整備に係る地元負担
分3分の1を道が負担するよ
う関係自治体とタッグを組ん
で早めに働きかけるべきであ
る。
【答】特に市街地の鉄道以南を
念頭に急いで計画を立てるが、
3分の1については、財源措
置を担保してほしいと国にお
願いしている。



福地裕行 議員



折出征清 議員

委員会・協議会の活動

道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

4月25日 ●道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業に係る進捗状況等について

●道の駅「しらぬか恋問」移転改築に係る進捗状況について

道の駅しらぬか基本構想案と進捗状況及びスケジュール等について、担当課から説明を受けた。

◆基本方針

「立地条件を生かし、白糠の魅力を凝縮した情報発信拠点の形成」

◆基本コンセプト

- ①町の魅力を発信するほか、道東釧路地域の玄関口として人を呼び込む交流・観光拠点
- ②海岸線という立地条件を生かし、飲食店利用者がオーシャンビューのロケーションの中で、町の食材を味わい、憩いのひと時を過ごしていただける施設
- ③恋問海岸の環境保全

◆機能のイメージ

- ①地域産品のブランド力を強化する特産品販売機能
- ②キラークンテンツとなりうるオーシャンビューを核とした賑わい機能
- ③恵まれた食資源を活用した飲食機能

●白糠駅前広場整備事業に係る進捗状況等について

白糠駅前広場整備事業手法調査委託業務の成果及びスケジュール等について、担当課から説明を受けた。

◆中間報告後の協議検討事項

町有住宅整備を断念し、図書館を基本に整備することとし、屋上には一時避難場所としての機能を持たせ、自由通路の架け替えも含めて全体を複合的施設として整備する計画とした。

自由通路の設置は、跨線橋を一旦撤去し、新たに設置する考え方で、整備の様子は屋根のある屋内型とし、通路幅も広くとり車椅子やベビーカー、自転車等

- ④顧客層の多様化に対応可能な情報発信、子育て機能
- ⑤災害時に対応した防災拠点機能
- ⑥環境に配慮した施設機能
- ⑦地域を取り巻く公共交通網の変化を踏まえた公共交通の拠点機能
- ⑧広大な敷地を活用した屋外空間機能

◆スケジュール

- 5月末まで 基本構想の完成
- 6月末まで 募集要項、要求水準書、審査基準、基本協定書案等の作成、地質調査
- 7～11月 公募開始から事業者選定
- 12月 基本協定締結

【主な質疑】

問環境調査はどのように行うのか。

答希少野生動物等に精通している方などに、ハマナスの生育環境、生育状況の調査と移植手法の検討、トウキョウトガリネズミの生息範囲の確認調査、その他鳥類やイソコモリグモという希少種の調査等をする予定。

も利用しやすい。また、階段のほかエレベーターの設置も考えている。

◆スケジュール

令和4年度 基本設計、令和5年度 実施設計、令和6年度から8年度 建設工事、令和9年度 共用開始。

【主な質疑】

問エレベーターの設置まで必要あるか。

答ベビーカー、自転車、車椅子などの利用のことを考え、エレベーターが必要と考える。

問 学園通りの街路樹について

答 道路パトロールと合わせて対応する

問全国的に、街路樹や公共施設の樹木に対する問題が取り上げられている。街路樹が強風や大雪などで倒れたり、電線等を切断するなどの被害の事例もある。

答本年8月に開校予定である白糠町立白糠学園の、通学路となる学園通りには、多数の街路樹があり、電柱・電線をはるかに超えることとなっている。このままだと暴風雨や大雪などで倒れた場合、電線などの切断が考えられる。防災の上で被災要素の除去は大切であり、特に通学路として、地域の住民の方々も心配している。現在、とても危険な状況であるが何か対処できないかか伺う。

答学園通りは白糠中学校、白糠高校へ通じる橋北地区の幹線道路であり、学園通りには多くの街路樹がある。また、

白糠高校の校歌にもあるようにカラマツなどの大木が並木道を形成し、美しい景観が残されている。

問学園通りの街路樹は大きく成長している状況にあり、これまで強風などの悪天候時に枝が折れたりした際には、都度、対応してきた。近年、発生が顕著である暴風雨、暴風雪などの異常気象による災害発生時に倒木の危険性が想定され、安全対策が必要があることから、道路パトロールと合わせ、街路樹の点検を実施し、枝打ちや枯れ木、老木の伐採など、維持管理を実施する。

答また、学園通りを含む町道や公園の街路樹の維持管理も、今後は予防保全に努め、安心・安全で快適な道路の維持管理をしていくために、定期点検や計画的な枝打ちなどを実施する。

問学園通りの街路樹は危険性があると認識されており、今後は枝打ちや老木の伐採など維持管理を徹底するとのことだが、今現在、担当課として危険性があると認識されて

いる箇所はどれくらいあるのか伺う。

答街路樹等の点検は月一回位のペースで定期的に行っており、現在、危険性があるところは認識していないが、昨年、危険性がある箇所については対応をしている。学園通りの街路樹については高木になっっていることから、枝打ち等を考えている。

問町内に街路樹の根が大きくなり、歩道が波打ったり通行に支障をきたしている場所があるが、対処をして頂きたいが伺う。

答町内の街路樹が通行の支障があるか今後パトロールを含め都度対処していく。



学園通りの街路樹

議員研修会

7月6日 ●北海道町村議会議員研修会

●北海道町村議会議員研修会

7月6日に札幌市で3年ぶりに開催され12名が出席いたしました。

- ・講演内容
『参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望』
- ・講師：政治ジャーナリスト 泉 宏 氏



研修会場の様子

講師 泉 宏 氏

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する決議

本年2月24日、ロシアはウクライナへの軍事侵攻を行い、多くの尊い命が奪われる事態となっている。

今回の暴挙は、国際社会の平和と秩序を著しく脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。

白糠町議会は、恒久の世界平和と安全を願い、ロシア軍による戦闘やウクライナへの主権侵害に強く抗議するとともに、軍事行動を即座に停止し、軍隊を無条件で撤退させ、国際法に則った外交による解決を図るよう、強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年5月17日

白糠町議会

行政視察の受け入れ

○6月27日、北海道町村議会議長会

- ・ふるさと納税の活用、返礼品について



北海道町村議会議長会

○7月12日、須坂市議会

- ・ふるさと納税の取り組みについて



須坂市議会議員

道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

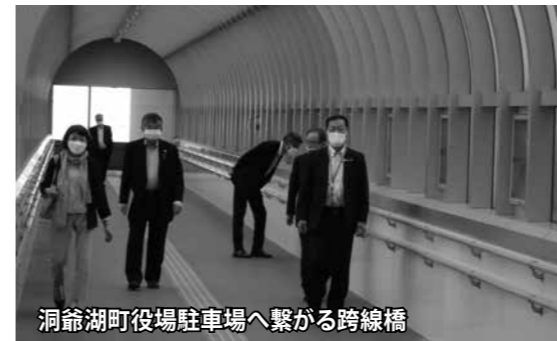
5月22～23日 ●行政視察

6月24日 ●行政視察報告

●行政視察（洞爺湖町）

洞爺湖町で洞爺駅にある洞爺駅交流センターと洞爺駅跨線橋について行政視察を行いました。

※行政視察のほか、道の駅5ヶ所（おとふけなつぞら、花ロードえにわ、サーモンパーク、だて歴史の杜、あびら D-51 ステーション）、駅舎3ヶ所（白老駅、伊達紋別駅、洞爺駅）の現地視察を行いました。



洞爺湖町役場駐車場へ繋がる跨線橋

【主な質疑】

問 駅舎との合築施設建設により人の流れは変わったか。

答 旧跨線橋は今の場所から100mぐらい離れており、屋根がなく階段を登るだけの普通の国道を横断する跨線橋と同じだったが、それが役場の横と、駅舎・交流センターに繋がり、屋根がついたので確実に人の流れは増えた。

問 駅舎の改築によりJRで何か目的を持って使える補助制度は今までやってきた中であったか。

答 JRが補助金を活用して実施した工事は恐らくない。この事業は町の負担ということで、町の補助事業を活用して実施した。交流センターから外れる部分で、駅舎側の外観については、JRで実施した。

議会改革・活性化特別委員会

7月1日 ●「町民と議会の懇談会」委員長報告について

●議員定数・議員報酬・政務活動費について

●「町民と議会の懇談会」委員長報告について

「町民と議会の懇談会」委員長報告内容を議長を除く全議員で確認し、議長へ報告することとなりました。

※「町民と議会の懇談会」の内容は、20～21ページに掲載しています。

●議員定数・議員報酬・政務活動費について

小委員会でもまとめた内容で意見を求め決定する予定でしたが、特別委員会としての結論を導き出すまでには至らず、議員定数・議員報酬・政務活動費の審議は次回へ持ち越しとなりました。



町民と議会の懇談会 委員長挨拶

その他の委員会・協議会活動

●総務文教常任委員会 5月9日・31日、6月8日

●議会運営委員会 5月9日・13日・24日・31日、6月7日

●広報広聴調査特別委員会 7月8日・14日

●議会改革活性化特別委員会 4月18日・25日、6月24日

●道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業特別委員会

5月9日、6月8日

その他

●橋北地域について

▶橋北の線路と町道間に排水溝があり、町内会で清掃をしているが、崩れていて人が入れないので対応してほしい。

▶公営住宅付近の舗装道路に排水溝があるが、柙が凍れ上がり、大きな水溜まりになっていて、子どもたちが歩くのに危険なので、対応してほしい。

▶町内にある集会所で、舗装がされていないのは橋北集会所だけ。雨が降ると田んぼのようになるので、なんとか整備できないか。

☑町において引き続き計画的に整備を行うよう通知する。

●廃屋について

▶炭鉱住宅が崩壊し、風の強い時には私有地に鉄板などが飛んでくる。景観も損ない、衛生的に悪く、何より危険なので、どうにかならないか。

☑町において、対応を協議するよう通知する。

●商店について

▶生鮮食料品を販売する商店を誘致できないか。

☑旧コープさっぽろ白糠店も内部改修し、4月下旬か5月には、生鮮食料品を販売する店が入る予定と聞いている。

※5月にツルハドラッグストアが開店。

●牛乳消費拡大関係

※1
▶生き活きしらぬか活動応援ポイント事業で、ポイントの達成により3,000円のシラトピア商品券が発行される予定と聞いている。その時に、牛乳と銘打った券を2,000円ぐらいでも一緒に発行していただけないか。

牛乳が廃棄されないように、券で配って飲んでいただくような方法を、お願いできないか。

☑町では、現在配布をしている元気!!しらぬか応援券の使用期限終了後(3月末)に、牛乳の消費拡大事業を検討したいとのことなので、町がどのような事業を展開するか注視する。

議員定数・報酬・政務活動費

●議員定数・報酬・政務活動費について

▶白糠町はこれからも人口が減る。この現状を踏まえ、町民の代弁者として、定数は何人が適正か報酬はいくらが適正かを、自分本位の考えではなく、町民の目線に立って考えてほしい。議員各位の真摯な議論をお願いしたい。

☑慎重に町民の目線で考え検討していきたい。

町民の皆さんが納得するよう決して自分勝手ではなく、色々と思案しながら進める。

町道

●道路について

▶町道の馬主来川沿い線と蜷川線の、砂利道は、砂利が圧倒的に少ない。雪解けの時期は、車がぬかるみにはまり通行できない状況である。

▶蜷川線は、道路の途中から除雪をしなという看板が立っている。JRの保線担当は、線路まで行かなくてはならないので、JRで業者に除雪を依頼していると思う。JRの負担にならないように出来ないか。

▶大秋集会所前から北側に続く舗装道路は1,224mあるが、6m50cmぐらいの道路幅で端から端まで亀裂が走っている。1,224m中、29箇所ある。亀裂の幅が広いところで10cmぐらいある。総距離を単純に29箇所で割ると、42.2mに1箇所ぐらい亀裂があることになる。夏に牧草の収穫で、トラクターやトラックで走るとすごい衝撃がある。特にトラクターはクッションが無いので、ものすごい衝撃を受ける。第8次総合計画はあるが、後からでも盛り込めないか。

☑除雪、道路関係を含め産業厚生分科会で協議する。また、町において引き続き計画的に整備を行うよう通知する。

※1 生き活きしらぬか活動応援ポイント事業とは、65歳以上の方を対象に、健診の受診や健康づくり活動、生きがづくり活動、自らが目標を立てて実施する自主活動に応じてポイントを付与し、30ポイント達成でシラトピア商品券と交換できるものです。

町民と議会の懇談会

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、入場者数の制限し、令和4年3月27日(日曜日)午後1時30分から、白糠町社会福祉センター大ホールで開催しました。

出席した方から、日ごろ気になっていることについて意見交換をしました。多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

主な質問・意見等

▶町民からの意見

☑議会の回答 ☑議会の今後の対応

駅前広場・道の駅

●駅前広場関係

▶バスターミナルの中に机と椅子を置いて、4~5人程度の小人数で気軽に打ち合わせなどができるスペースを要望しているが、進捗状況を教えてほしい。

☑駅前広場の整備事業で建築される施設内には、小会議室やフリースペースなど余裕を持った施設を建設したいと聞いている。

●道の駅関係

▶飛行機に乗る前に恋問館に寄り、お土産を買っていただき、札幌や東京などに行けるよう恋問館から空港へ抜ける道路を模索できないか。

☑新しい道の駅の構想は町であるようだが、建設場所以外はまだ決まっていない。

恋問館から空港へ向かう道路も、踏切をつける許可は出たようだが、それ以外ははっきりしていない。

公園

●馬主来自然公園について

▶今後、国道からJR根室本線の間について、整備をする予定はあるのか。あるとすれば、その場所には水芭蕉の群生地や、ハスカップの自生が見られるので、水芭蕉は木道を整備して、見られるようにしたいのでは。

☑国道より南側のフンペリムセ発祥地の碑周辺は令和3年度に整備がされたが、それ以外は現在のところ整備の予定はない。

防災

●避難場所について

▶多くの町民の命を津波や洪水から救うために、議会として町にどのような施策を提案、または要求しようとしているのかを聞きたい。

☑駅前広場の再開発と合わせて、一時避難場所を作る方向で検討をしていると、町から伺っている。

▶岬の森東山公園の避難場所に行くための長い坂を登っていくのが大変なので、旧岬の森総合案内センターの横にある階段を登りやすく改修するように検討してほしい。

☑令和4年度から色々な調査をし、岬の森東山公園一帯の整備がなされ、階段も整備される予定になっている。

▶冬場の寒い時期に地震や津波が来た場合、避難場所は屋外であるので、防寒対策等を検討していく必要があるのではないか。

☑総務文教常任委員会の所管事務調査事項として協議中。

●戸別受信機関係

▶せっかく多額の費用をかけて整備をしたのだから、防災以外にも町の広報活動等に利用できないか?今のようないい方かしないのであれば、休日や夜間に戸別受信機をきちんと運用できるのか非常に不安である。

※戸別受信機の運用について5月25日発行の広報しらぬか6月号8ページ「太陽のてがみ」で回答された。



議員の目



①朝陽の光に感謝し、我がまちのシンボルを仰ぎ見る（太陽の手）

②一滴の水が大地に注ぎ大河となり、まちの産業を潤す（茶路川河口）

③新たな船に乗り、日々樹木に囲まれた安住の地・坂の丘（合葬墓） 撮影：山吉 公徳 議員



あとがき

令和4年第2回定例会初日（6月7日）に新任職員の議会傍聴があり、一般質問提出議員の緊張と熱の入った質疑応答が行われました。

新任職員の反応が気になりますが、「笑顔輝くまちづくり」に知恵と力を出し合う一員になることを期待します。

8月には町立白糠学園が開校し、全町が施設一体型義務教育学校となります。今後一貫教育がスポーツ・文化活動にもつながるよう！！

「コロナ禍トンネル」の先に少し光がさしてきたような気がしますが、感染症対策は皆で守り安全安心な毎日を過しましょう。

「議会だより」を読んで声をお聞かせください。
（小野）



今号の表紙



今号の表紙は、5月6日に白糠高校1年生が、議場で役場職員の講話をとおして、町の現状、公務員の仕事を学びました。

講話では津波、洪水避難時の心構えのほか、一次産業の取り組み、役場の業務内容について解説されました。